

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. B-46

<b>部門名：働き方改革実践部門</b>	<b>エントリー名：島根県立津和野高等学校</b>
<b>活動名：</b> 主タイトル (12 文字以内) <b>センセイオフィス</b> 副タイトル (16 文字以内) <b>働く環境の見直しからの働き方改革</b>	
<b>解決すべき課題：</b> 業務時間や業務内容の整理・分担などの教員の働き方改革が進められる中で、スイスの家具メーカーでオフィス環境の整備での取り組みを進める Vitra 株式会社に相談し、教員にとって「働きやすい環境かどうか」という働き方の量ではなく質に着目して改革を始めた。 集中しやすい環境や作業しやすい環境が、働く場所を選択できれば、能率が上がるのではないかという仮説を立て、教員にアンケートを実施したところ、「集中できる場所が欲しい」「生徒との面談がしにくい」という課題を発見した。 また、生徒にもアンケートを実施したところ、「職員室に入りにくい」「面談しにくい」「先生が室内にいるかわからない」といった職員室に関する課題を抽出することができた。できた (※写真 1) さらに働く環境について考える中で、大量にある書類の整理方法と管理保存のルールが必要さが明らかになった。	
<b>目標・方針：</b> ・働きやすい環境として①作業に集中しやすい環境、②コミュニケーションの質の向上、③生徒との関わり合いの質の向上、④健康面、精神面の配慮の 4 つを実現 (※写真 2、図 1) ・整理整頓の仕方を見直し、収納のルール作りを通して、大量の書類を削減し、スペースの創出 ・教員自身が課題を見つけ、解決策をチームで考え、改善のアクションを取るという文化の創出	
<b>活動内容：</b> ・「働きやすい職員室について考える」ワークショップの開催 (※写真 3、4) ・使用頻度に応じた収納ルール (hot, warm, cold に分けての書類整理、保存のルール) による書類の削減 ・プロジェクトチームの結成による現状分析の月 1 回のミーティング ・環境変更後も検証を通じた、収納物の配置の変更 ・Vitra 株式会社との協議・意見交換	
<b>活動の成果：</b> <b>【先生のアンケートより】 (※グラフ 1、2)</b> (2019 年 5 月) 今のセンセイオフィスは働きやすい環境だと思いますか？ そう思う 54% どちらかと言えばそう 45% 先生同士でのコミュニケーションを取りやすくなりましたか？ そう思う 54% どちらかと言えばそう 45% 生徒との面談や会話がしやすくなりましたか？ そう思う 18% どちらかと言えばそう 63% そう思わない 9% (2019 年 7 月) 今のセンセイオフィスは働きやすい環境だと思いますか？ そう思う 73% どちらかと言えばそう 27% 先生同士でのコミュニケーションを取りやすくなりましたか？ そう思う 53% どちらかと言えばそう 47% 生徒との面談や会話がしやすくなりましたか？ そう思う 40% どちらかと言えばそう 46% そう思わない 6% <b>【先生のコメント】</b> (コミュニケーション) 「見通しが良くなり、教員間の会話が増えた」「入りやすい雰囲気になり、生徒とのコミュニケーションの頻度が増えた」 (整理) 「必要のないものが減った」「机の上を整理する習慣がこれからついていくのでは」 「机の周りから紙がかなり減りました。教員間の会話が増え、良い雰囲気を作れていると思います。」 「頻繁に使わないものについては、個人所有しなくても差し支えないことが良くわかりました。収納スペースがあるから、つい物を増やしてしまうということもあると思います。」 (働き方) 「以前より動くことが多くなり、動きながら物事を考えることによって、考えをまとめやすくなった」	

「すっきり見渡せる場所、片付いているので活用スペースがどこかしらにあるのがとても良い」

**アピールポイント (アイデアや工夫)：** ※3~5 つ程度、箇条書きしてください

- ① 「職員室はこういうもの」という、これまでの常識を疑って、改革に挑戦
- ② 環境を変えた後も、検証のプロセスを通して、新たなトライアルを期間を区切って実施し、再検証
- ③ 外部の民間機関の力を借りながら、専門性を活かしての連携による実践
- ④ セキュリティラインを職員室内に入れ教員自身が対生徒や教員間のコミュニケーションの質の向上を実感
- ⑤ 収納・保管の仕方を見直し、よく使うものを近くに置き、新たな機能を持たせるスペースを創出

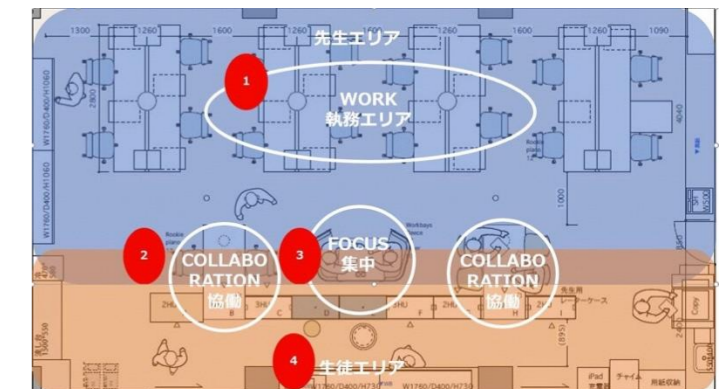
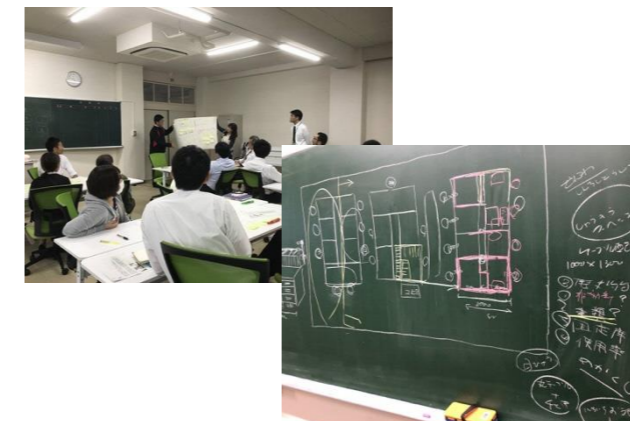
(写真 1)



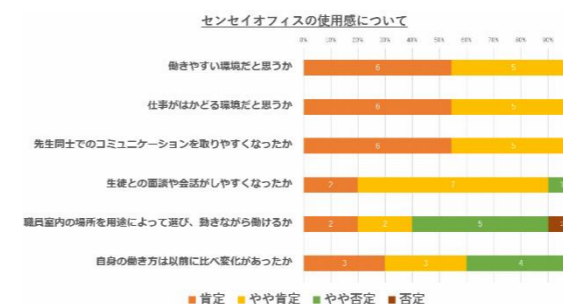
(写真 2)



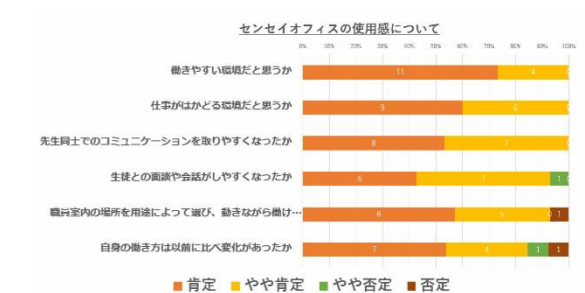
(写真 3、4)



(グラフ 1) 5 月調査



(グラフ 2) 7 月調査



5 月→7 月でセンセイオフィスの使用感が向上、肯定的な評価が増加